



# でらボラ

## NAGOYA

### 通信

# 6

2015. vol.1

ご支援、  
ありがとうございます！

真宗大谷派名古屋教区内有志災害ボランティアネットワーク 発行

私たちは、2011年3月11日に発生した東日本大震災を機に、被災地の復興と、人と人とのつながりの回復を願う有志によって結成されたネットワークです。

活動支援のカンパなど、引き続き本会の活動へのご支援、宜しくお願い申し上げます。

募金は「一如さん（毎月12日）」の募金箱、もしくは下記の口座までお振込みください。

【口座名義】真宗大谷派名古屋教区内有志災害ボランティアネットワーク

【ゆうちょ銀行振替口座 口座記号番号】00800-8-174946 【支店名】名古屋橋

あなたなら  
どうします？

## 避難所生活がやってくる？

今後30年のうちに発生する確率70%と言われている「南海トラフ地震」。多くの方が「避難所」に身を寄せることになると考えられます。しかしながら、避難所生活には、トラブルはつきもの。

自宅の電気・水道・  
ガスがストップ。  
建物も余震に耐え  
られないかも。

避難所へ

場所の取り合い、早  
い者勝ち。自分勝手  
に良い場所をとる。

健康管理がお  
ろそかになっ  
て、体調悪化。

物資が行  
き渡らず殺  
気立つ。

やむを得ず自宅で避難  
して、避難所へ物資を  
受け取りに行くと白  
い目で見られる。

→裏面へ。事前の備えが必要。

皆さんの地域  
大丈夫？

## 避難所生活を生きるために

避難所の運営がスムーズにできるかが、鍵です！

- ①情報の共有：家族構成・年齢・高齢者や体が不自由な人の有無、病歴、アレルギー体質、宗教についても把握。また、事情によって、自宅で避難している近隣世帯の情報も共有。
- ②施設の共有：避難者のスペースの配分を適切に行う。本部・救護所・物資スペース、子どもがいる家族などを区分け。近所やママ友同士を近くにしたり、持病のある人を救護所の近くに作る。
- ③食料の分配：食料の数や賞味期限、避難者の病気やアレルギー、宗教上の理由で食べれないものなども見きわめて分配。食料以外の物資についても、避難者の情報をもとに分配。

以上のことが震災直後にできるよう、それぞれの役割にあたりながら避難所運営の事前の訓練をすることが大切です。

(参考『中日新聞』「備える 3.11 から災前の策」(2015.6.1 朝刊))

本会でらボラ  
NAGOYA では、  
避難所生活を想  
定した炊き出し  
訓練などを、寺  
院で実践的に行  
っています。

## でらボラ☆これまでの活動報告

【「名古屋教区親鸞聖人七百五十回御遠忌」行事部主催、一泊研修での炊き出しサポート】

日 時 2015年5月20日(水)～21日(木) / 場 所 名古屋別院

来年の親鸞聖人の御遠忌に向けて、御遠忌委員のなかで御遠忌テーマ「ともに生きる-いのちのつながり-」を再確認し、部門を超えたつながり確かめようと一泊研修をしました。



今年3月にはお待ち受け大会・法要を終え、本番に向けて、5月に東日本大震災部門が新しく出来ました。御遠忌テーマである「ともに生きる」ことを考える部門だと思います。

東北支援に早くから奔走したでらボラメンバー、大河内真慈氏の問題提起を受け、語り合いました。



参加者50名が6つの班に分かれて、でらボラが培った豚汁とハイゼックスごはんの炊き出しをして、会食する。与えられた食材を余すことなく使う。

それぞれの班でいろいろな課題、反省、本番に向けての抱負が出ました。一つ一つが「ともに生きる」ために大切なことなんだ、と感じながらの研修でした。(高橋 和)

## でらボラ☆これからの活動予定

【東北ボランティア G.ぷんだりーか東北ツアー】

日 時 6月16日(火)～19日(金) / 場 所 福島県を中心とした各地

【自主避難者支え合いの会「あゆみR.P.Net」被災者支援法に対する街頭呼びかけのサポート】

日 時 6月24日(水) 午後4時30分～ / 場 所 金山駅南口にて

【でらボラ総会・朗読劇『空の村号』劇団名古屋】

日 時 6月30日(火) 総会 午後3時～  
朗読劇 午後4時30分～

場 所 真宗大谷派名古屋教務所 議事堂

原発事故によって変わっていく  
村と家族の朗読劇。  
無料！だれでも参加できます！